

● 「大通交流拠点地下広場」の供用開始について

平成 25 年 8 月から地下鉄南北線大通駅コンコースに整備を進めている「大通交流拠点地下広場」の新規拡張部が、2 月 4 日から順次供用を開始します。

同広場は、「人びとの多様な交流を支援し、都心内の中心性を象徴的に表現する『サッポロ広場』の形成」を目的として、改修工事を行ってきたものです。

コンコース内に点在する行政サービス施設を新規拡張部へ移転・集約することにより、混雑の解消や円滑な人の流れと見通しの確保を行うほか、滞留空間を整備し、多くの方に都心での快適な時間を提供します。

札幌市は、同広場の整備を進め、市民や観光客の多様な交流を支援していきます。

1 事業概要

(1) 広場名：大通交流拠点地下広場

(2) 概要

「人びとの多様な交流を支援し、都心内の中心性を象徴的に表現する『サッポロ広場』の形成」を目的とし、隣接する民間事業者と「大通交流拠点まちづくりガイドライン」を作成し、建物地下階と一体となる広場空間を形成するため、官民協働で整備を進める。

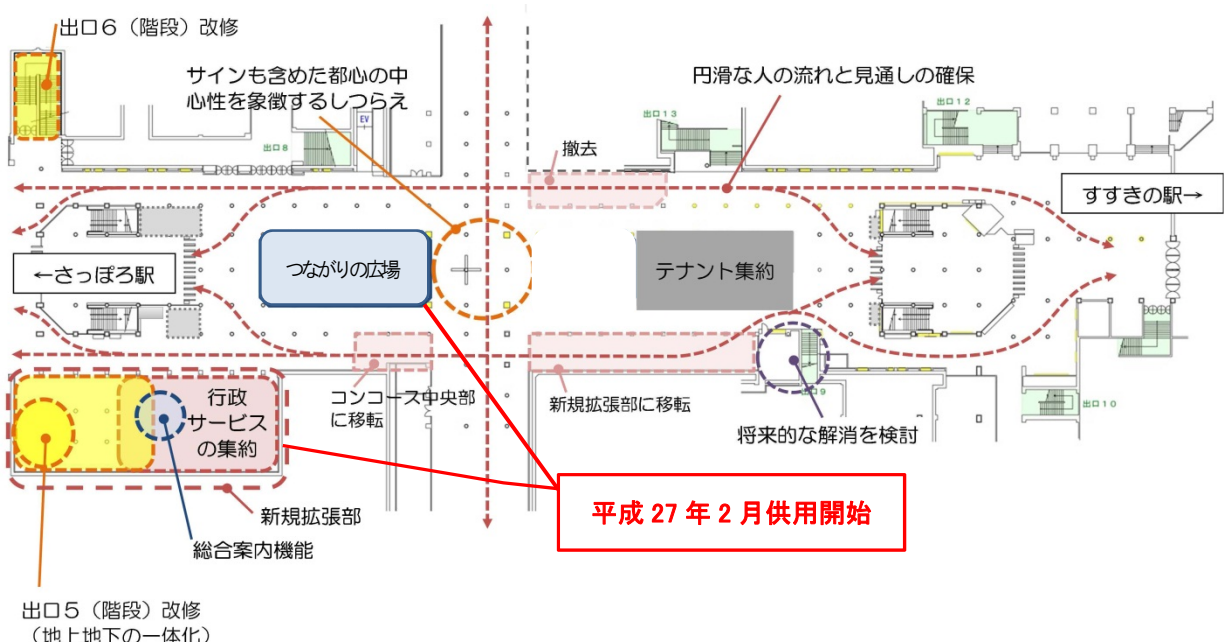
(3) 場所：中央区大通西 3～4 丁目、南 1 条西 3～4 丁目（一部）

(4) 整備方針

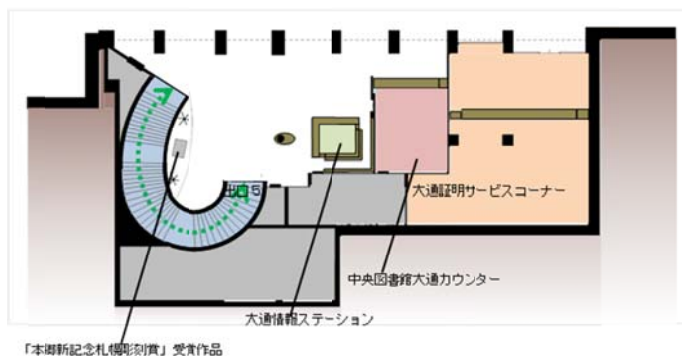
- ① 歩行者通行量の増加や、歩行者動線と施設利用者の待ち行列の交錯による混雑を解消し、円滑な人の流れと見通しを確保
 - ア コンコース内に点在する行政サービス施設を新規拡張部へ移転・集約
 - イ 民間テナント施設をコンコース中央部へ移転・集約
- ② 滞留機能・利便機能を備え、人々が豊かな時間を過ごすことができる広場を形成
 - ア 休憩や待ち合わせ、多様な情報の収集などを行うことができる滞留空間を確保
 - イ 観光文化情報ステーションを新規拡張部へ移転し、4 月より総合案内機能に拡充
- ③ 都心の中心にふさわしい質の高い空間とする
 - ア 出入り口を改修し、地上の自然光を取り込む吹き抜けなど、地上と地下を結び付ける空間をデザインする

(5) 事業費：約 22 億円

(6) 整備概要図



新規拡張部の拡大図



2 整備状況

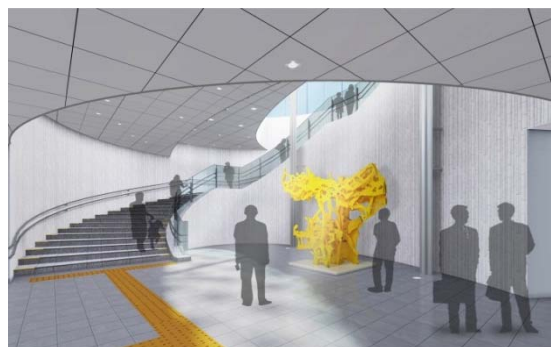
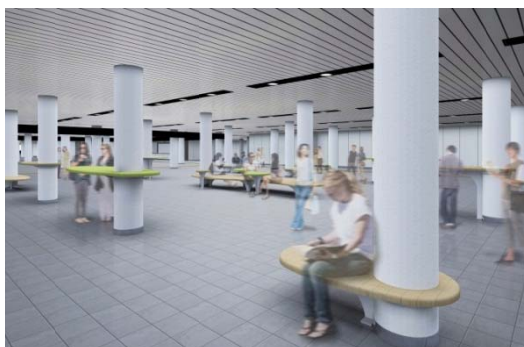
平成 25 年 9 月にコンコース改修工事を開始。平成 26 年 12 月に、元気ショップ等がテナント集約スペースに移転オープン。新規拡張部の行政施設等が、平成 27 年 2 月 4 日から順次供用を開始する。また、民間事業者側では、北洋大通センターおよび、札幌大通西 4 ビル（旧：秋銀石屋ビル）が竣工したほか、明治安田生命札幌大通ビルが間もなく竣工する予定。

3 行政施設等オープン予定日

- 2 月 4 日（水）：地下鉄大通駅出口 5、コンコース中央部の滞留空間（通称：つながりの広場。テーブル・ベンチを設置）
- 2 月 18 日（水）：新規拡張部「大通証明サービスコーナー」「大通情報ステーション（旧：観光文化情報ステーション）」
- 2 月 23 日（月）：新規拡張部「中央図書館大通カウンター」

4 「第 1 回本郷新記念札幌彫刻賞」受賞作品除幕式

- (1) 日時：2 月 4 日（水） 10：00～10：30
- (2) 場所：地下鉄大通駅出口 5 付近（地下）
- (3) 受賞作品：谷口 顕一郎作「凹みスタディ-琴似川北 12 条西 20 丁目-」
- (4) 内容：上田市市長、柳川 慶子氏（本郷新の義娘、女優）、谷口氏のあいさつと、「第 1 回本郷新記念札幌彫刻賞」受賞作品のお披露目を行う。
※除幕式終了後、出口 5 を開通する



▲大通交流拠点地下広場イメージ図

問い合わせ先

（大通交流拠点について）

市民まちづくり局都心まちづくり推進室都心まちづくり課 高田・笹森・木村
電話：211-2692

（「本郷新記念札幌彫刻賞」について）

観光文化局文化市民文化課 加茂・南・横式 電話：211-2261